



Reise String Laboratory vol.1

Premium Concert

~未来に音を紡ぐコンサート~

《Program》

L.v.ベートーヴェン/弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 Op.18より

L.v.Beethoven/ String Quartet no.2 in G major, Op.18

I .Allegro, IV.Allegro molto quasi presto

Vn.梁美沙 Vn.藤岡佐恵子 Va.坪之内裕太 Vc.門脇大樹

W.A.モーツァルト/弦楽三重奏のためのディヴェルティメント

変ホ長調 K.563より

W.A.Mozart/ Divertimento for Violin, Viola & Cello in E flat major, K.563

I .Allegro, II .Adagio, VI.Allegro

Vn.梁美沙 Va.牧野葵美 Vc.芝内あかね

C.ドビュッシー/弦楽四重奏曲 ト短調 Op.10より

String Quartet in G minor, Op.10

I .Animé et très décidé, IV.Très modéré

Vn.山森温菜 Vn.小栗まち絵 Va.牧野葵美 Vc.大熊勇希

-休憩-

F.シューベルト/弦楽四重奏曲 第13番 イ短調 D804「ロザムンデ」

F.Schubert / String Quartet No.13 in A minor, D804 "Rosamunde"

I .Allegro ma non troppo, II .Andante, III.Menuetto.Allegretto-Trio, IV.Allegro moderato

Vn.梁美沙 Vn.小栗まち絵 Va.牧野葵美 Vc. 門脇大樹

~諸注意~

- ・携帯電話・音の鳴る機械類は、恐れ入りますが、マナーモードまたは電源OFFをお願いいたします。
- ・許可の無い録音・録画はご遠慮ください。

Reise String Laboratory について

発起人、牧野葵美の想い



Reise String Laboratoryは大阪で学生だった時に『こんな企画あれば良かったのに!』と思う企画を形にしたものです。イギリスで開催されているブルシャ・ゴブ室内楽セミナーをモデルとしています。演奏会も最終日(3月11日)に開催しますが、それよりもリハーサルやプロセス、意見を交換したりみんなで音楽について向かい合う時間が一番大切だと思っています。色んな角度から音楽をみたり色々試したりする時間の重要性をみなさんにご理解いただいて、6日~10日まで5日間リハーサル取ることができました。それぞれ多忙を極めるメンバーにも関わらず、スケジュールを調整していただいたこと感謝申し上げます。また、一般社団法人Reiseの全面的なご協力に心から感謝いたします。おかげさまで、幅広い世代の音楽家に参加しますが、様々な経験がある人たちも最初は未経験だったわけで、それをふまえてもまずは自分より経験のある人と弾くのは若い時期に必要なことです。この機会が未来の音楽シーンを担う若い音楽家の助けになれば幸いです。



開催概要

本事業では、国内外で活躍の一流音楽家による弦楽器のマスタークラスやセミナーを開催いたします。受講生はいずれも未来の音楽シーンを担う若手音楽家で、日本全国から集まります。本事業が重要視していることは以下の3つです。

1. 国内外から経験や年齢の多様な音楽家が集まり、互いを刺激し合うこと。
2. 音楽に向き合う時間(リハーサル)が最優先であること。
3. 音楽業界の発展についてアイデアを共有したり、対話できる場所と時間であること。

これにより、クラシック音楽業界に新たなイノベーションを起こし、グローバルに活躍する音楽家が誕生すると考えています。

Schedule

Category: 室内楽

2023年

3月6日(月)~

3月11日(土)

Reise String Laboratory Vol.1

会場: 今福音楽堂

3月6日~8日: 室内楽講座(クローズ)

3月9日~10日: 室内楽講座(一般有料公開)

3月11日: 室内楽プレミアムコンサート(一般有料公開)

14:00開演(13:00開場)



Reise
String
Laboratory

未来へ音を届ける

講師紹介



ヴァイオリン | 小栗 まち絵 Machie Oguri

桐朋学園大学卒業。インディアナ大学アーティストディプロマ課程修了。ヴァイオリンを江原俊徳、エギンゴールド、F. グリの各氏に、室内楽を斎藤秀雄、R.マン(ジュリアードカルテット)、M.プレスラー(ボザール・トリオ)の各氏に学ぶ。第37回日本音楽コンクール第1位。インターナショナル弦楽四重奏団のメンバーとして、1976年エヴァン(演・ボルドー)国際室内楽コンクール第1位、77年ミュンヘン国際コンクール第3位。欧米で活動を始め、インディアナ大学サウスベンド校助教、ブラウン大学アーティスト・イン・レジデンスを歴任。86年帰国以来、桐朋大学で弦楽の指導にあたる。大塚フィル、N響、東京都響、京都府響、関西フィル等と共演。パッハから現代人の現代作品まで幅広く取り組み、ソロ、室内楽、オーケストラリーダーとしての多岐な演奏活動、及び教育者としての功績に対し2004年度モービル賞受賞。09年度大阪市共創財(文化功労部門)、16年度大阪文化財賞最優秀賞等受賞。現在、いづみシンフォニエッタ大阪コンサートマスター、水戸室内管弦楽団メンバー、東京音楽大学特任教授、桐朋大学客員教授。



ヴァイオリン | 梁 美沙 Mi-sa Yang

大阪生まれ。8歳から小栗まち絵に学び、12歳でオーケストラと初共演。2000年、13歳でメニューイン国際コンクールで優勝。パリ国立高等音楽院でジャン・ジャック・カントロフとオリヴィエ・シャルリエに師事し、22年から同音楽院ヴァイオリン科准教授としてオリヴィエ・シャルリエのクラスを受け持つ。09~19年、ピアノのアダム・ラルーム、チュロのヴィクトル・ジュリアン、ラファエルと「トリオ・レゼスプリ」を結成して活動し、現在はアルデオ四重奏団のメンバー。アムステルダムのコンセルトヘボウ、ウィーンのコンツェルトハウス、パリのシャンゼリゼ劇場などで演奏し、ヨーロッパ各地の音楽祭に招かれている。録音は、ミラーレからモーツァルトのヴァイオリン・ソナタ、ベートーヴェン、シューマン、ブラームス、ドヴォルザークのピアノ三重奏曲、ソニーからシューベルトの幻想曲とピアノ三重奏曲、15からレーベルからパッハのゴルトベルク変奏曲など多数出ている。



ヴィオラ | 牧野 葵美 Kimi Makino

桐朋大学を特別奨学生として卒業後、同時にヴィオラに転向。ロームミュージックファンデーション奨学生としてスイス・ジュネーブ音楽院修士課程を卒業。15年イギリス・王立ノーザン音楽大学修士課程を特別奨学生として卒業。第2回東京国際ヴィオラコンクール第3位。青山音楽賞新人賞受賞。紀尾井ホール「明日への扉」シリーズ出演をはじめ、いづみホール、トッパンホールでの演奏会が好評を得る。また、国内外で数々の音楽祭に招待される。ヴィオラベース、武生協賛音楽祭、グローバ音楽祭、ムジエブ音楽祭、フルシャ・コブ室内楽セッション、ルツェルン音楽祭アカデミー、ヴェルビエ音楽祭アカデミーに参加。これまでにヴァイオリンを松本光世、岸邊百百郎、小栗まち絵の各氏に師事。ヴィオラを山本由美子、ガース・ノックス、今井信子の各氏に師事。2017年よりBBCフィルハーモニック副首席奏者。
www.kimi-makino.com/



チェロ | 門脇 大樹 Hiroki Kadowaki

東京芸術大学音楽学部附属高校を経て、同大学卒業。日本クラシック音楽コンクール第1位及びグランプリ、第5回ピパホールチェロコンクール第3位、第74回日本音楽コンクール第3位。ザルツブルグ・モーツァルト国際室内楽コンクール第1位。平成28年度エネルギー音楽賞受賞。東京芸術大学卒業後、ロームミュージックファンデーションより奨学金を得て、レジュエミリア音楽院で研鑽を積み、ロリンマゼール指揮、シンフォニカスカニーニのベートーヴェン交響曲全曲演奏会に参加。その後アムステルダム国立音楽院にてアンナ・ピルスマのマスタークラスを受講。現在東京音楽大学非常勤講師、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。

プログラム

3月11日開催のプレミアムコンサートでは、室内楽講座で5日間磨き上げた以下の楽曲から抜粋して演奏いたします。

シューベルト：弦楽四重奏曲 第13番「ロザムンデ」D804

ドビュッシー：弦楽四重奏曲ト短調 作品10



ベートーヴェン：弦楽四重奏 第2番 ト長調 Op.18-2



モーツァルト：ディヴェルティメント 変ホ長調 K.563





未来へ音を紡ぐ

 今福音楽堂 @imafukuongaku  ライゼカンマーオーケストラ @Reise Kammer

 音楽寺子屋 @ongakuterakoya  Youtube 一般社団法人Reise